

<b>経済産業大臣賞</b> <small>「事業所・地方公共団体等」分野</small>	受賞者名
	東京ガス横浜中央エネルギー株式会社
	取組の実践場所
	神奈川県横浜市
	受賞テーマ
	使用済みガス機器の資源再利用（リサイクル）の推進

受賞者は、10年以上前からガス機器リサイクルセンターにてリサイクル事業を行っている。販売時に交換した給湯器などを解体し、金属を中心とした資源として再利用している。

2022年度の資源回収実績は174tであった。

リサイクルの流れ（給湯器の場合）は次のとおりである。

1. 回収：機器の販売時に古い給湯器を回収
2. 運搬：回収した給湯器を「ガス機器リサイクルセンター」に運搬
3. 解体分別：「ガス機器リサイクルセンター」にて分解、資源毎に分別
4. 引き渡し：専門業者へ引き渡し、別の製品にリサイクル



ガス機器リサイクルセンター

給湯器に使われていた金属は、電気自動車の一部として生まれ変わることもある。



リサイクルの様子

同社の経営理念「1人ひとりが能力・意欲・創意を發揮し、互いを尊重しあう風土をつくり、社員の幸福を追求します」や「総合エネルギー企業として地球環境に配慮した都市づくりに積極的に貢献し、お客さまの快適で安心な暮らしを創造します」には、SDGsの考え方である「誰一人取り残さない」に共通の考え方がある。

同社は、包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進している。リサイクルセンターは、別の業務に就くことが難しい障がいのある社員の働く場にもなっている。会社や環境・地域への貢献を実感することは、社員の喜びと働きがいにつながっている。

ガス機器の販売事業で取り付けを行った際、取り外した機器は通常産業廃棄物となる。同社はリサイクル事業に取り組むことで、一部の産業廃棄物の削減を行い、環境に配慮した持続可能な都市づくりに貢献している。

